【社会人経験者採用】先輩職員インタビュー

支所長業務

茨城支所　支所長

２０１３年　入構

ー ナスバを選んだ理由を教えてください

医療機関で作業療法士（ＯＴ）としてリハビリテーション業務に従事し、心身の機能回復訓練・日常生活動作訓練・家族指導等を通し患者さんの社会復帰を支援していく中で、自動車事故で脳損傷や脊髄損傷の患者さんも担当していました。
患者さんの中には、ナスバ介護料受給資格者や千葉療護センターから退院された方もいらっしゃいました。その方々を通してナスバの存在を知りました。

このリハビリテーション業務での社会復帰支援の職務経験がナスバ業務にも活用でき、ナスバに貢献できるのではないかと思い、社会人経験者採用に応募し採用となり現在に至っています。

ー 入構後、どのような仕事を担当してきましたか

チーフ採用　東京主管支所
担当業務：適性診断業務　→　被害者援護業務

チーフ　本部　被害者援護部　療護センターグループ
担当業務：療護センター・委託病床の設置運営業務

アシスタントマネージャー　神奈川支所
担当業務：安全指導業務（適性診断・指導講習・安全マネジメント）

マネージャー　東京主管支所
担当業務：総務・経理業務

支所長　茨城支所
担当業務：支所管理業務　まだまだ至らぬ点も多く精進している日々です

↓下の写真はイベントでの自動車アセスメント試験車両展示の準備作業時のものです。運転席にいるのが私です。

ー ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします

ナスバへの社会人経験者採用には、医療機関からの転職で、業務分野が異なるため、当初はナスバ業務を遂行できるか不安を感じていました。

入構後は、適性診断業務の担当となりました。産業カウンセラー資格を所有していなかったので、養成講座の受講からスタートし、その後業務に必要な運行管理者資格（貨物・旅客）やナスバ内部資格を取得していきました。
ナスバ業務について右も左もわからない私に対して、上司・先輩・後輩職員から丁寧な指導を受け、ナスバ業務を少しずつ習得し現在に至っています。

ナスバに転職して苦労が無かった訳ではありませんが、現状では仕事とプライベートともに充実した生活を送っています。

一緒に自動車事故対策の専門機関であるナスバで、安全・安心・快適な自動車社会づくりに貢献してみませんか。

自己紹介

【主な経歴】
ナスバ入構前は、医療機関（大学病院と一般病院）で、作業療法士としてリハビリテーション業務（入院・外来・訪問）に従事していました。

【休日の過ごし方・趣味】
休日は、自動車を所有していないため、カーシェアの様々な自動車を借りて、ドライブを楽しみながら自動車運転技術等の向上にも努めています（自動車の運転は好きな方です）。
特にその車内のカーラジオで、お気に入りの番組を聞くことが趣味といえるかもしれません。

右の写真は、茨城県大子町へプライベートで日帰り旅行に行った時のもので、右下が私です（一緒に写っている方には使用承諾を得ています）。→

寄り添うナスバ　頼れるナスバ

【社会人経験者採用】先輩職員インタビュー

コンプライアンス推進、人材育成

仙台主管支所　次長

２０１２年　入構

ー ナスバを選んだ理由を教えてください

前職での仙台勤務時に東日本大震災に遭い、被災したことが今後の人生を考えるきっかけになりました。被災地でボランティアをする中で、多くの被害者を支援できる仕事に就きたいと考えるようになり、この思いを友人に話していたところ、自動車事故被害者の支援を行っているナスバが、産業カウンセラー資格保有者の募集をしていることを知りました。幸い、前職で産業カウンセラー資格を取得していたこともあり、社会的意義の高い業務を実施している、ナスバへの入構を志望しました。

ー 入構後、どのような仕事を担当してきましたか

入構後、運行管理者等の指導講習、運転者の適性診断・カウンセリング、安全マネジメント等の事故防止に関する業務から被害者支援、安全情報の提供、総務・経理業務まで幅広い業務に従事してきました。特に、少人数の支所では、全業務を一体的に実施することができ、自動車事故対策の専門機関であるナスバの使命とやりがいを強く感じることができました。

その後、福島支所長を拝命いただき、県のナスバの代表として、支所の運営全般に携わりました。

現在は、仙台主管管内（東北６県）のコンプライアンス推進と人材育成に関する業務を行っています。また、若手職員中心の採用プロジェクトチーム等を立ち上げ、職員がやりがいを持って業務に取り組める仕組みづくりを実施しています。

様々な業務や立場を経験していたことが、職員へのアドバイス等に活きていると感じています。

ー ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします

若手研修会の昼食会場にて撮影

数ある企業の中から、ナスバにご興味を持っていただき、ありがとうございました。皆様にこうして閲覧してもらったのも、何かの縁だと思っています。

独立行政法人という組織は聞き慣れない方もいらっしゃるかと思いますが、ナスバは自動車事故対策の専門機関として社会的に意義のある公共的な業務を幅広く行っています。

人生は一度きりですが、皆様の人生の選択でナスバを選んでいただき、一緒に働けることを楽しみにしています。

自己紹介

趣味は旅行です。学生時代は、バックパッカーとして海外旅行を楽しんでいました。ナスバはお休みが取り易いので、昨年も家族で海外旅行に行かせていただきました。私のモットーとして、家族の幸福を最優先に仕事をしているのですが、オンとオフのメリハリが付けられるのもナスバの魅力だと感じています。

＊写真は若い時に妻とイースター島に行った時の写真です。今は年齢を重ねて、もっとふっくらしています悲

前職では、営業、企画、マーケティング等に携わっていました。ナスバの業務は、培った経験が活かせるものが多いと感じています。皆様が持っているスキル・経験も事故防止や被害者支援に役立てることができると思います。我こそはという方のご応募お待ちしています。

寄り添うナスバ　頼れるナスバ

【社会人経験者採用】先輩職員インタビュー

援護業務

名古屋主管支所　アシスタントマネージャー

2018年　入構

ー ナスバを選んだ理由を教えてください

ナスバは、国土交通省の所管する法人として、自動車事故の発生防止と被害者への支援を目的とした組織です。全国規模で安全教育機関及び被害者支援をする大船、老舗（昨年でナスバは設立５０年）であります。

前職では、自動車教習所、トラック協会において、初心ドライバーからプロドライバーの方に向けた安全指導教育に20年ほど携わってきましたが、ナスバであれば、一般ドライバーからプロドライバー（バス・タクシー・トラック）に対して、幅広く、これまでの経験やスキルを活かした仕事ができて、やりがいを感じられると思ったため、入職を志望しました。　ただ、当時の私には子供が４人がいて、転職は、家族のためにも失敗が許されない不退転の決断でした。けれども、そんな不安よりも、ナスバという組織で働けるという期待の方が大きかったと思います。

また、新しいキャリアを身につけられる、会社・団体に将来性がある、勤務時間、休日休暇が希望に合っている、収入が上がる、全国各地で働ける …など、私にはそれらが大きな魅力に感じられた、ということもあります。

お陰様で転職して７年が経ちましたが、常々、この大船に乗れて良かったな、と感じております。

ー 入構後、どのような仕事を担当してきましたか

入構後は、自身のキャリアを活かせる業務として、主に安全指導業務をさせていただきました。具体的には、事業用自動車の運行管理者への指導講習や、運転者への適性診断、講師派遣（事業者の安全意識の向上や安全教育を実施）などです。

広島主管支所２年→静岡支所２年→名古屋主管支所２年と、いずれの勤務地でも安全指導畑を歩んできましたが、名古屋主管支所３年目の令和６年度より、初めて「被害者援護業務」に携わることになりました。

ナスバの援護業務では、交通事故により保護者が亡くなられた方、重度後遺障害を負われた方、その生活介護をする家族の方々と日々接します。介護料支給の手続き、受給者への訪問支援（面談を通じて心理的なサポート）を通じて、被害者の方々の日常生活の実態を知ることになります。初めての業務ということで戸惑うことも多いですが、この経験は、今後、再び安全指導業務に携わることになっても、きっと役立つだろうし、運転者や運行管理者との関わり方も変わってくるのではないかと思っています。

ー ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします

近年、コロナ禍、物価上昇、急速なデジタル化や技術革新など、生活に影響を与える出来事が錯綜しております。このような中、人生の岐路に立ち、将来を見据えて転職を決断しようとする皆さんの心中をお察しいたします。転職は「決断力」と「勇気」が必要ですね。

私は今まで転職を２回経験いたしました。転職において「心配」になることは、人それぞれですが、やはり、自身のキャリアがしっかりと活かせるかどうか、または、労働環境や人間関係との相性や、今後のライフスタイルがどう変化するのかだと思いますが、人事管理制度がしっかりとした組織ですから心配はいりません。入講後の定期的なヒアリングもあり、誠実に業務を遂行すれば公正に評価される制度も整っております。

「失敗しても後悔はしない。後悔するとしたら挑戦しなかったときだろう。」　将来、共に仕事ができたら嬉しいです。

自己紹介

徳川家康の故郷、愛知県岡崎市出身で、名城大学卒業後、地元の自動車教習所を皮切りに、（一社）愛知県トラック協会を経て、ナスバに入りました。

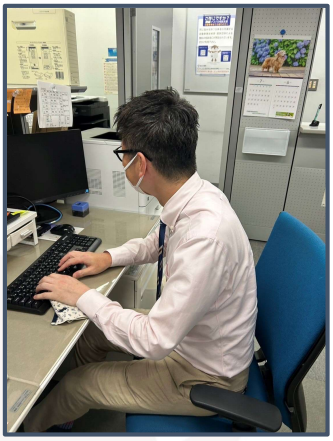
幼い頃から車に関心が高く、バイクトライアル（２輪競技）をしたり、ヴィッツレースでサーキット走行したりと車の技術を磨くことを趣味として楽しんだり、常に自動車に関わる仕事に従事して来ました。

現在は、ハイエースで家族と共に車中泊の旅（めざせ、全国制覇）をしております。ナスバでは転勤により全国に仲間が出来ますので、地元ならではの穴場スポットや、おいしい食べ物屋さんなど、貴重な情報を教えてもらえるのがとてもありがたく、公私ともにフィールドが拡がりました。

また、運転者教育の更なる向上に向け、心理学やコーチングに関心があり、学んだことを業務で即実践し、活かすことが出来るのも大きな楽しみの一つです。

寄り添うナスバ　頼れるナスバ

【社会人経験者採用】先輩職員インタビュー



安全マネジメント業務

東京主管支所　チーフ

２０１９年（西暦）入構

ー ナスバを選んだ理由を教えてください

前職は自動車教習所に勤務していました。本社はタクシー会社でしたので、自社の安全の体制作りを構築するために、ナスバからいろいろ助けていただきました。そんなこともあり、ナスバのことは知っており、本社も安全の取組みがさらに改善されていきました。ナスバのサポートで１つの会社のやる気が変わったことを目の当たりにしたことで、率直に、「ナスバってカッコいいなぁ」と感じ、その気持ちをずっと持ちながら数年後、みなさまがご覧になっているナスバのホームページに辿り着きました。

職員の募集が目に入り、当時の「ナスバってカッコいい」が蘇ってきました。転職活動をしていたわけではありませんでしたが、「ナスバだけ受けてみよう」と採用試験に挑む決意をしました。３９歳での転職でしたので、不安が大きかったですが、有難いことに「採用」をいただき、即決で入構を決めました。

ー 入構後、どのような仕事を担当してきましたか

・２０１９年８月１日　ナスバ入構
東京主管支所へ配属　　適性診断業務担当

・２０２２年１月１日
埼玉支所へ異動　　適性診断業務・安全マネジメント業務担当

・２０２４年４月１日
東京主管支所へ異動　　安全マネジメント業務担当

安全マネジメント業務が「ナスバってカッコいい」と思った業務です。ナスバに入構するきっかけとなった業務に携わることができました。「事故防止は運転する個人の問題だけでなく、会社として何ができますか？」ということを事業者さまと一緒に考えて、それぞれができる事故防止のお手伝いをしています。

ー ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします

ナスバに入構し、最初の業務は適性診断を担当しました。適性診断にはカウンセリングという業務がありますが、教習所の経験を発揮したところ、お相手の方に不信感を与えてしまった経験があります。お相手の方のことを何も考えていませんでした。「話せばわかる」と考えていましたが、「聴けばわかる」に考え方が変わり、現在の業務にも活かされていると思います。

まだまだ反省すべき点がありますが、職場のみなさまの力を借りながら、少しずつお客さまや事業者さまから「ありがとう」と言っていただけるようになってきたと感じています。何歳になっても「ありがとう」と言われると嬉しいですし、そんなナスバの仕事に誇りを持っています。

自動車事故防止業務はとても大儀あることだと思います。採用試験を受けるという、あの一歩を踏み出したことは自分でファインプレーだと思っています。こんな自分でさえ誇りを持ってできる業務に出会えました。一緒にどうですか？

自己紹介

〈主な経歴〉
ナスバ入構前は自動車教習所で、技能・学科・検定を担当していました。

〈趣味・休日の過ごし方〉
趣味はスノーボードを楽しんでいます。スキー場のシーズン券を購入し、毎週滑りに行っています。前職では、スノーシーズンが教習所の繁忙期でもあったため、なかなか休みをとることが難しく日帰りばかりでしたが、ナスバでは連休の有難みを感じながら、スノーボードを満喫しています。
また、ゴルフも好きです。下手の横好きのため、エンジョイを大切にしています。笑
ナスバに入構して、趣味をより満喫しています！

寄り添うナスバ　頼れるナスバ

【社会人経験者採用】先輩職員インタビュー

被害者援護業務

熊本支所　チーフ

２０２２年　入構

ー ナスバを選んだ理由を教えてください

【運命に導かれるようなナスバとの出会いでした！】
もともと看護師として勤務していた私は、病気や障がいをかかえた方やそのご家族と関わることがありました。また、保育園や行政機関での勤務を経て、相談業務や保健指導、講師としての経験も積むことができていました。そして、産業カウンセラーの資格を取得したこともあり、「この資格を活かして社会のお役に立てる仕事はないだろうか」と考えるようになり、転職へと向かった先で出会ったのがナスバだったのです。
基本理念にある「被害者支援と自動車事故防止を通して、安心・安全・快適な社会づくりに貢献する」という言葉に強く感銘を受けました。父親が自動車メーカー勤務だったことや家族を事故で亡くしているという背景もあり、心が大きく揺れたのかもしれません。
自動車事故という負の部分に向き合い、社会から悲しみを減らし幸せを増やす仕事。こんな組織の一員になれたら、と勇気を出して応募したことを思い出します。

ー 入構後、どのような仕事を担当してきましたか

適性診断では、カウンセラーとして、受診者の方にご自身の運転特性について気づいていただくためのカウンセリングを実施し、安全運転のためのアドバイス等をおこなっております。
運行管理者を対象とした講習業務では講師を務めることもあります。
また、被害者援護業務では、介護料の請求作業や受給者やご家族とお会いして話を聴かせていただく訪問支援という業務をさせていただきます。
被害者援護業務の中で関わる多くの方から「もっと早くナスバを知りたかった！」というお声を頂戴します。
できるだけ多くの方にナスバを知っていただくために力を注いでいる広報活動にも携わらせていただきました。ラジオ番組への出演やイベントでの司会、行政機関の学校や関係団体で、広報を兼ね被害者援護業務を中心に講義（講演）をさせていただいたこともあります。少しでもお役に立てていたら嬉しい経験です。

ー ナスバを目指す人に向けてメッセージをお願いします

転職という思い切った決断が必要なとき、たくさん悩まれると思います。そんなとき「自分がどうありたいか」「どんな時間を重ね、どんな人生を送りたいか」、そんなことについて考えてみるのもいいかもしれません。これまで自分が残してきた足跡を振り返ってみて、なにか少しでもナスバと重なることがあれば、飛び込んでみるのもいいかもしれません。ないとしてもこれからの人生の景色にナスバという彩りを加えてみることを考えてみませんか。これまでの自分を活かして更に成長するのもアリ、これまで知らなかった自分を知るために新たな挑戦をするのもアリ。型にはまらず自分の可能性を信じてナスバへの一歩を踏み出してみると、きっとそこには居場所が見つかるはずです。自分がする仕事で社会を良くすることに繋がっていく、、、こんな幸せなことはないですよね！

自己紹介

Mr.Childrenの熱狂的ファン。ファン歴は３０年を超えました。
ライブやフェスには積極的に参加します。
野球観戦も好きで、地元福岡ソフトバンクホークスを応援しています。
神社仏閣巡りやパン屋さん巡りをすることもあり、休日はドライブがてらどこかに出かけています。
御朱印帳はそろそろ４冊目。次はどこのを購入しようかと検討中です。

「良い事があってこその笑顔じゃなくて、笑顔でいりゃ良い事がある…」

そんな言葉を大切に、顔に刻むのは縦のシワより横のシワが良いなと日々心掛けています。（笑）

寄り添うナスバ　頼れるナスバ